

「ほほえみ佐世保」設立

レッゴールレッゴール

7月23日(日)10時からサ
ンライフ佐世保(佐世保市)
で、長崎県警協・通院介護支
援事業「ほほえみ佐世保」の
設立総会が開催されました。
会場には、約40名の会員が
参加していました。

県警協会長の北川氏が挨拶
にたち、「弱い立場の私たち
が、通院介護支援事業を立ち
上げたのは、すごく意義のあ
ることです。弱い立場の私た
ちに、行政は手を差し延べる
べきです」と訴えました。

来賓の挨拶を佐世保市議会
議長崎山氏、県議会議員織田
長氏、「さわやか」会長江頭
氏が行いました。

崎山議長は、「町内や友人
に身体の不自由な人がおり、
皆さん苦労されているので、
このような事業が設立された
意義は大きい。また、佐世保
地区は過疎地域までバスが運
行しなくなりそうなので、そ
の意味からも、『ほほえみ佐
世保』のような組織が必要に
なってきました」と述べました
織田議長は、「県の事業と
して通院介護支援事業を推進

するよう努力する」と約束し
ました。

江頭会長は、「ほほえみ佐
世保」に「末永く継続して欲
しい」と連帯と激励の挨拶を
送りました。

ボランティア代表の決意表
明と利用者代表代理の感謝の
言葉がありました。

議案の審議は財政問題が中
心で、今年度は二百十萬円の
予算でやっていくことが承認

大変参考になりました

第11回ボランティア学習会

「さわやか」ボランティア K・K生

七月九日、小倉第一病院で
の第11回ボランティア学習会
に参加しました。

私の「さわやか」での送迎
ボランティアは昨年三月より
で只今二年生です。従ってこ
の学習会参加は二回目でした
透析治療とはどんな事なの
か、今までは福腎協情報を読
んだ程度ですが、専用用語等
があり理解してないことが沢
山ありましたが、午前中の前
田さんのお話は、透析治療に

されました。また、新役員も
選出されました。

送迎は実質的には7月1日
から開始されています。利用
者一名、ボランティア8名で
運営をされています。

佐世保地区はタクシー業
の力が強く、「寄附金徴収は
白タク行為である」との横や
りが入り、行政の態度が硬化
しているようです。

そのような条件の中で、透
析患者の通院介護支援のため
の努力に敬意を表するととも
に、継続的發展を望みます。

「奉仕の心」

「さわやか」ボランティア

谷 安さんの奥様

谷 智代

主人が通院介護のお手伝い
をさせていたたく様になりま
してから、定かではありませ
んが四年位になります。でし
うか？

途中、利用者の方が入院さ
れて休みになってしまうと、
なんだかその一週間のシメが
出来ないような気がして落ち
つかないときまで言う程になり
介護させていたでいてる者
のほがが、反対に精神的介護
をさせていたでいております
私も主人の都合がどうして
もつかずピンチヒッターでお
手伝いさせていたでかせても
らったことがあります。そ
んな日は心の中で、少しは私
が下がりました。

ボランティアさんの中には
送迎中にいろんな経験をなさ
った方がおられたようで頭
が下がりました。

午後からは、藤原さんの実
践に役立ついろいろな介助の方
法など現物にての講習があり
大変参考になったと思います。

街にでかけた時など、ちょ
っと障害者の方のお手伝いが
気軽に出来るのではないでし
ょうか。

今日は一日ボランティアの
皆さんの熱心な受講ぶりに頭
が下がる思いでした。

が大きく見えます。
これからも、そんな主人を
微力ではありますがすけれど、応
援していきたいと思っております。

お盆休みのお知らせ

8月12日～8月15日
上記期間、「さわやか」事務局は休みます
ボランティアの方で、送迎できる方は送迎
をされます。ご苦労様です。

編集後記

「さわやか」新聞も早いもの
で、今号で43号を迎えました
基本的には、毎月1回の割
合で発行してきたことになり
ます。この間、江頭が編集を
して頂きました。
次号からは、「さわやか」
事務局が、編集を担当するこ
とになりました。
以前にも増して「愛読いた
だくようお願いいたします。